

一 般 質 問 通 告 書

令和7年 5月 30日

前
午10時 15分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和7年 5月 30日

湖西市議会議長 神谷 里枝 様



湖西市議会議員 神谷 浩幸 印
(署名又は記名押

印)

質 問 方 式 (○を付ける)	☒ 一問一答 ☐ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	観光を地域経済の柱の一つとして位置付け、創業・教育・産業振興と連動した「地域内経済循環型観光政策」への転換について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	観光を地域経済の柱の一つとして位置付け、創業・教育・産業振興と連動した「地域内経済循環型観光政策」への転換について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 湖西市ではこれまで観光施策を、主に交流人口の拡大や市の魅力発信といった目的で推進してきたが、観光が創業、教育、地域産業など他分野とどのように結びつくかについては、体系的な整理や評価が十分とは言えない。人口減少・地域資源の未活用といった課題が顕在化する今こそ、観光を通じた地域内経済循環の形成という視点から政策の見直しを図るべきと考える。 (質問の目的) 観光を地域経済の柱として再定義し、創業支援やキャリア教育、地元企業との連携など、観光が多分野に波及する“政策横断型の成長エンジン”として機能する可能性を探る。あわせて、こうした位置づけを観光基本計画や産業ビジョンに明文化し、具体的な KPI・KGI をもって政策を運用していく行政の意思と体制整備の方向性を問う。 (質問事項) 1. 観光の産業的再定義と評価指標の再構築について 観光基本計画に観光消費額、滞在時間、雇用等の経済波及効果を評価指標に加える考えはあるか伺う。 2. 創業支援・商業活性化との連携強化について 体験型観光を契機とした創業や副業型収益モデルの育成支援はどう位置づけられているか伺う。 3. 学校教育（キャリア教育）との接続可能性について 小中高校のキャリア教育において、観光資源や産業ツーリズムを活用する仕組みは現時点でどのように位置づけられているのか。 また、地域体験や職業理解を通じて若年層の地元定着につなげていくために、今後どのように構築・推進していく考えか伺う。 4. 観光基本計画・産業ビジョンへの反映と広域戦略の整理について 観光基本計画およびモノづくり産業振興ビジョンにおいて、観光を地域産業として明文化する考えはあるか。あわせて、浜松・浜名湖ツーリズムビューロー等広域連携の中での湖西市の役割と成果をどう整理しているか。今後、教育旅行や地域資源を活用した体験型観光を市独自の誘客戦略として計画に反映する考えはあるか伺う。	

一 般 質 問 通 告 書

令和 7 年 5 月 30 日

前
午 10 時 16 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 7 年 5 月 30 日

湖西市議会議長 神谷 里枝 様



湖西市議会議員 佐原佳美



(署名又は記名押印)

質 問 方 式 (○を付ける)	☒ 一問一答 ☐ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	湖西市手話言語条例の制定について

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西市手話言語条例の制定について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 本年4月、公明党の県議会議員を通じて、東日本大震災復興支援の映画制作を手掛けた映画製作会社から連絡があった。実話を基にした聴覚障害者の家族を描く映画を当市で上映したいとのことで、湖西聴覚障害者協会も同意しているため、相談に乗ってほしいとのことであった。 その映画製作会社の社長は、市の応援も希望しており、私との初対面時に市長との面談も希望した。4月末には、映画製作会社の社長、聴覚障害者協会役員、市長、関係職員が集まり、映画の内容や県内他市での上映計画について伺った。 市長は市内での上映を快諾され、5月末から関係者による打合せが始まった。映画のストーリーや社長より提供された資料（聴覚障害者と手話の歴史、聾者の教育、手話の位置付けに関する法整備など）を読み進めるうちに、<u>この映画上映の目的は、聴覚障がい児者の「生きづらさ」を知ってもらうだけではなく、当事者を取り巻く市民や行政がどのように行動するべきか明確にし、より良い共生社会を築くきっかけとすることではないか</u>と感じた。 <u>そこで、数年前から他市町で制定されている「手話言語条例」の制定を目指したいと考えている。</u>	
(質問の目的) 聴覚障がい者が社会において平等に参加し、中でもろう者は言語である手話を用いて自己表現し、理解される環境を整えるために「湖西市手話言語条例」を制定して欲しい。	
(質問事項) 1. 身体障害者手帳取得者のうち「聴覚障害者」は、市内に何人いるのか。	

2. 市が聴覚障がい者や聴覚障害者協会に予算付けしている事業の実施状況は。

3. 近年における一般市民向けの手話教室の実施回数と参加者数は。

4. 手話通訳者は足りているのか。

5. 聴覚障害者協会の方々と地域福祉課は、定期的に懇談会を開いて、聴覚障がい者の困りごとや希望を把握しているのか。また、どのような内容を把握しているか。

6. 「湖西市手話言語条例」を聴覚障がい者などの意見を基に制定していく考えは如何か。

一 般 質 問 通 告 書

令和7年5月30日

午前10時18分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和7年5月30日

湖西市議会議長 神谷 里枝 様



湖西市議会議員

三上 祐 (印)

質問方式 (○を付ける)		一問一答	一括の質問答弁
番号	主 題		
1	市役所の移転問題		
2			
3			
4			
5			

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	市役所の移転問題
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 就任直後に田内市長が「建て替える場所の候補地に駅前周辺を加えて検討したい。検討する期間は1年程」と発言してから、私をはじめ何割かの市民は大きな関心事として捉えている。 市役所や病院の移転問題は、時々あちこちで大論争となることがあり、次の市長選の争点になる可能性もある。 そこで私は、この20年以内に市役所の建て替えをした3つの市役所に電話していろいろ質問した。 (質問の目的) 市長の就任から半年ほどになるので、途中経過を聞きたい。 (質問事項) 1. 移転問題は大論争になるケースもある。その覚悟を市の幹部は共通認識しているか。 2. その覚悟であれば、検討する期間は2年や3年かかっても構わないと思っている私だが、半年経過した今も1年で十分との認識か。 3. 駅辺り、と言うが、駅南のひまわり広場の辺りか、駅北の浜名湖側なのか、駅に近いが別の場所なのか、どこを候補にして検討しているのか。 4. 市の所有地だけでは敷地が足りないのか、どこかを買うことも検討しているのか。既に打診している段階なのか。 5. 既に、投資額の検討に入っている段階か。	

6. 市長就任から半年経過した今も議員に中間報告がないが、中間報告
そして議員からの意見を聞く機会をいつ頃予定しているのか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

一 般 質 問 通 告 書

令和7年 5 月 30 日

前
午10時 19 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

R7 年 5 月 30 日

湖西市議会議長 神谷 里枝 様

湖西市議会議員

福永 千子 印

(署名又は記名押印)

質 問 方 式 (○を付ける)	☐ 一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	災害時に市民の尊厳と人権を最大限に守るために
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	災害時に市民の尊厳と人権を最大限に守るために
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) いつ発生するのか予想が困難であるのが災害です。いざという時に女性や子供、高齢者、障がい者、外国人、性的少数者など、いわゆる災害弱者とされる方々の安全を確保し、その尊厳と人権を守ることは、自治体として極めて重要な課題です。 令和6年の能登半島地震では、性別や立場の違いによるニーズへの配慮が不十分であったために、着替えや授乳の空間が確保されない、性暴力やハラスメントへの対策が遅れる、女性や当事者が意思決定の場に参画できないといった問題が顕在化しました。全国各地で同様の事例が報告されており、平時からの体制づくりと制度化の必要性が指摘されています。 静岡県では、男女共同参画の視点に立った防災施策を強化しており、避難所運営マニュアルへの多様性配慮の明記、防災会議への女性参画の数値目標化、男女共同参画の視点からの防災ブックの発行など、具体的な政策展開が進んでいます。一方、湖西市では、性別や立場の違いによるニーズへの対応が十分に明記されていない状況です。男女共同参画の視点に基づく防災活動を日頃から具体的に取り組めるよう、内容をまとめたものもありません。また、災害対応においては、女性リーダーや支援者の存在が、要配慮者への現実的な支援体制の構築に直結しますが、湖西市では地域防災体制や意思決定の場における女性の登用・育成体制がまだ明確にはなっていません。非常時に活躍できる体制を整備するには、平時からのジェンダー平等の実現が不可欠です。 加えて、妊娠婦や乳幼児のための「母子避難所」の設置や、外国人市民に対する多言語対応、障がい者支援、性的マイノリティへの個別配慮、男女共にリーダーとして要配慮者への支援の視点を持つなど、具体的な整備が求められるテーマは多岐にわたり、これらを横断的に支える制度設計が急がれます。「誰一人取り残さない」防災を実現するため、男女共同参画推進計画の防災分野を拡充し、地域防災計画や避難所運営マニュアルと具体的に連携させることが求められています。	

(質問の目的)

災害時に全ての市民の尊厳と人権を守るため、男女共同参画の視点を取り入れた防災体制と避難所運営をさらに充実させる。

(質問事項)

1. 次期男女共同参画推進計画に、防災・災害対応を独立した重要分野として位置付けるお考えはありますか。
2. 防災会議や自主防災会における女性委員や役員の比率目標の設定、防災リーダー育成研修等の実施について、今後の計画を伺います。
3. 妊産婦や乳幼児を守るための「母子避難所」の設置、マニュアル整備、防災訓練への反映のお考えはありますか。
4. 予防の仕組みづくりが不可欠である、避難所における性被害・性暴力のリスクをどのように認識し、どのような仕組みや対策を講じていくお考えかを伺います。
5. 避難所運営マニュアルに、性暴力防止、授乳・更衣スペース、プライバシー確保、性的少数者への配慮など、具体的施策を盛り込む方針は確立していますか。
6. 地域防災計画・避難所運営マニュアルと男女共同参画推進計画との連携、またその内容の定期的見直し体制について、具体的な方針はありますか。
7. 湖西市として今後どのように、男女共同参画の視点を取り入れた防災教育・地域への啓発や実践的な取組みを進めていくのか、具体的な施策について伺います。
8. 災害時に的確な支援体制を築くためには、平時から女性管理職を含む多様な視点を持った意思決定体制が不可欠です。
湖西市役所における女性管理職登用の現状と課題をどう捉え、今後、組織としてジェンダー平等の実現に向けてどのような方針で取り組むのか、市長の見解を伺います。

一 般 質 問 通 告 書

令和7年 5 月 30 日

前
午10時 20 分 受付
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和7年 5 月 30 日

湖西市議会議長 神谷 里枝 様

湖西市議会議員 山口 裕教 
(署名又は記名押印)

質 問 方 式 (○を付ける)		一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題	
1	湖西市子ども子育て支援について	
2		
3		
4		
5		

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西市子ども子育て支援について
質 問 の 要 旨	
(質問しようとする背景や経緯) 湖西市では、平成 27 年 3 月に、第 1 期となる「湖西市子ども・子育て支援事業計画」を策定。令和 2 年 3 月に「第 2 期湖西市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、子育てに関する様々な施策の展開を図ってきました。又「湖西市子ども計画」は、令和 5 年 4 月に新たに施行された「子ども基本法」の理念等を踏まえ、本市の全ての子ども達が幸福な生活を送る事が出来る様、総合的、計画的に推進する為のもので有り、子育て当事者が、経済的な不安や孤立感を抱いたり、仕事との両立に悩んだりすることなく、子どもと向き合い、子育てしていける事が重要でありますが、夫婦共稼ぎが主流と成っている今日、実際に仕事と子育ての両立が充実しているか、事業所に於ける子育ての理解促進の啓発など湖西市に於ける子ども・子育て支援に於ける進捗状況を確認する為に、質問致します。 (質問の目的) 湖西市における全ての子ども達が、健やかに成長する事が出来、置かれている環境などに関わらず、その権利の擁護が図られ、幸福な生活を送る事が出来る様、仕事と両立し易い子育て環境を充実させることが質問の目的です。 (質問事項) 1. 行政に望む子育て支援での「事業所に於ける子育ての理解促進の啓発」で、子育て支援に繋がる就労環境の整備実行の事業所に、厚生労働大臣により認定される「くるみん認定」が 3 社増えたと伺いましたが、事業所間の差を無くし底上げを図る新たな啓発を促す施策としてどのような奨励方法を考えているかお伺いします。 2. 行政に望む子育て支援での経済的負担について、今までも市としては、給食費無償化や保育料軽減などの負担軽減は行って来ているが、更なる経済的な支援のお考えがあるのか伺います。	

3. 行政に望む子育て支援として共働き両親に於いては学童保育（放課後児童クラブ）制度が非常に有効的で有難い制度で有ると認識していますが、選任指導員の人数は放課後児童クラブに人数に対して足りているのか？今後増員して行く必要は無いのかお伺いします。
4. 行政に望む子育て支援として放課後児童クラブに於いては、小学生児童の減少等が進んでも、共働き両親が増加している現状に対して、待機児童は居ないのか？今後受け入れ人数を増やしていく必要は無いのかお伺いします。
5. 行政に望む子育て支援として放課後児童クラブを活用した地域との協力支援による体験学習などについて、今後どの様に考えているのかお伺いします。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること